



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション
 コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 田中 文人
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3279-1330

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,071	9.1	8		69		81	
2022年3月期第3四半期	11,075		64		26		3	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 463百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 96百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	20.20	
2022年3月期第3四半期	0.80	

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,520	11,897	44.9
2022年3月期	26,524	11,528	43.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,897百万円 2022年3月期 11,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				30.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	7.4	250	9.0	330	9.7	300		74.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.(3)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	4,069,747 株	2022年3月期	4,069,747 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	50,480 株	2022年3月期	69,174 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	4,011,798 株	2022年3月期3Q	3,993,165 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染症」という。）の影響を受けつつも、感染防止対策と経済活動の両立が進んだことなどにより以前のように経済が大きく停滞することもなく推移いたしました。しかしながら、外国為替市場での急激な円安傾向、世界的なインフレ、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に加え原油をはじめとした資源価格の高騰等によって、世界情勢が不安定となり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下にあつて当社グループは、和装事業におきましてはコロナ感染症の感染防止対策と経済活動の両立が進んだことによる売上増もありましたが、不採算催事からの撤退も同時に行ったことにより、売上減となりました。洋装事業におきましては、新規案件の獲得もあり売上はほぼ前年並みに推移しました。ホームファニッシング事業におきましては、「ラルフ ローレン ホームコレクション」のライセンス契約が終了し、店頭での販売から商品を供給する事業へと変更となり売上減となりました。健康・生活事業におきましてはテレビ等の通信販売の不振もあり売上減となりました。

厳しい経営環境下ではありますが、当社グループにおきましては、2022-2024 年度を計画期間とする新中期経営計画「成長と変革に向けての新たな挑戦」を掲げ、既存事業の黒字化と新規事業の立ち上げ、上記事業を支える組織体制を変更してこの4月より新中期経営計画期間のスタートを切りました。①消費者へのダイレクト提案、②成長拡大路線への回帰、③全営業部門の黒字化、④効率経営の実践と生産性の向上、⑤コア事業の強靱化と新規事業開発の促進を5つの基本方針として、攻めと守りのメリハリをきかせ、事業単位の最適化を図り、事業部横断型の新規事業部門を設立することで全社的な取組みとしての新事業領域の開発を推進して事業規模の縮小に歯止めをかけ、1株当たり年間配当額30円をベースとした継続的な株主還元の実施を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,071百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益は8百万円(前年同期は営業損失64百万円)、経常利益は69百万円(前年同期は経常損失26百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円)となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[和装事業]

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、コロナ感染症の感染防止対策と経済活動の両立が進んだことによる売上増と、不採算催事からの撤退による売上減があり、結果として売上減となりましたが損益が改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は860百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント損失(営業損失)は132百万円(前年同期はセグメント損失199百万円)となりました。

[洋装事業]

メンズ事業、レディス・OEM事業につきましては、アパレルの店頭不振の影響により、受注額が減少して減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の新規案件の獲得もあり増収となりましたが、急激な円安と原料価格の高騰により利益率が低下し減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 3,856 百万円（前年同期比 0.5%増）、セグメント損失（営業損失）は 126 百万円（前年同期はセグメント損失 73 百万円）となりました。

〔ホームファニッシング事業〕

ホームファニッシング事業につきましては、前連結会計年度末に「ラルフ ローレン ホームコレクション」のライセンス契約が終了し、店頭での販売から商品を供給する事業へと変更したことで売上減となりましたが、経費の節減効果もあり大幅な増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 2,039 百万円（前年同期比 29.7%減）、セグメント利益（営業利益）は 295 百万円（前年同期比 538.9%増）となりました。

〔健康・生活事業〕

健康・生活事業につきましては、テレビ等の通信販売の不振もあり売上減となったことに加え、円安と原材料の高騰による急激な商品コストの上昇により利益率が低下し大幅な減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 2,576 百万円（前年同期比 8.2%減）、セグメント損失（営業損失）は 200 百万円（前年同期はセグメント損失 49 百万円）となりました。

〔建物の賃貸業〕

建物の賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化もなく、前連結会計年度並みに推移しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は 779 百万円（前年同期比 7.8%増）、セグメント利益（営業利益）は 416 百万円（前年同期比 1.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産の部は、流動資産、固定資産内での変動はありましたが、資産合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円の減少と、ほぼ増減なく 26,520 百万円となりました。流動資産においては、前連結会計年度末に比べ 235 百万円増加いたしました。これは現金及び預金が 1,113 百万円増加し、受取手形及び売掛金が 765 百万円、棚卸資産が 234 百万円減少したことによるものです。固定資産においては、前連結会計年度末に比べ 238 百万円減少いたしました。これはアウトレット店舗の固定資産売却等により有形固定資産が 322 百万円減少し、投資その他の資産における投資有価証券の取得及び時価評価により 757 百万円増加したこと、出資金が回収されたことにより 700 百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ 372 百万円減少し、14,622 百万円となりました。これは流動負債において前連結会計年度に引当金として計上したライセンス契約終了損失引当金が 132 百万円減少したことに加え、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）と固定負債における長期借入金を含めた借入金の合計額が 419 百万円減少し、繰延税金負債が 157 百万円増加したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ 369 百万円増加し、11,897 百万円となりました。これは主に利益剰余金 40 百万円の減少とその他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が 406 百万円増加したことによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想としましては、現段階で2022年5月13日発表の修正は行っておりません。ただし、業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,827	2,941
受取手形及び売掛金	2,502	1,737
電子記録債権	25	349
棚卸資産	2,239	2,004
その他	784	581
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,378	7,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,374	2,111
土地	10,562	10,562
その他(純額)	169	109
有形固定資産合計	13,106	12,783
無形固定資産		
その他	73	71
無形固定資産合計	73	71
投資その他の資産		
投資有価証券	3,774	4,532
出資金	1,500	800
退職給付に係る資産	616	640
その他	208	213
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	5,964	6,050
固定資産合計	19,145	18,906
資産合計	26,524	26,520
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,510	933
電子記録債務	1,087	1,705
短期借入金	5,064	5,045
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,130
未払法人税等	46	18
未払消費税等	81	4
ライセンス契約終了損失引当金	132	-
その他	606	673
流動負債合計	10,029	9,510
固定負債		
長期借入金	1,930	1,900
繰延税金負債	2,089	2,246
再評価に係る繰延税金負債	12	12
退職給付に係る負債	202	210
資産除去債務	10	10
その他	721	731
固定負債合計	4,965	5,111
負債合計	14,995	14,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829	2,829
資本剰余金	707	712
利益剰余金	6,864	6,824
自己株式	△83	△60
株主資本合計	10,318	10,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,088	1,494
繰延ヘッジ損益	0	△11
土地再評価差額金	9	9
退職給付に係る調整累計額	111	99
その他の包括利益累計額合計	1,209	1,592
純資産合計	11,528	11,897
負債純資産合計	26,524	26,520

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	11,075	10,071
売上原価	7,413	7,537
売上総利益	3,661	2,533
返品調整引当金戻入額	28	—
差引売上総利益	3,689	2,533
販売費及び一般管理費	3,754	2,525
営業利益又は営業損失(△)	△64	8
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	105	119
投資有価証券売却益	—	4
保険配当金	6	6
その他	10	32
営業外収益合計	124	164
営業外費用		
支払利息	78	71
手形売却損	2	1
為替差損	3	24
その他	2	5
営業外費用合計	86	102
経常利益又は経常損失(△)	△26	69
特別利益		
雇用調整助成金	33	—
特別利益合計	33	—
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	29	—
特別損失合計	29	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△22	69
法人税、住民税及び事業税	△19	△11
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	△19	△11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3	81
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	81
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	406
繰延ヘッジ損益	△3	△11
為替換算調整勘定	0	—
退職給付に係る調整額	△18	△11
その他の包括利益合計	△93	382
四半期包括利益	△96	463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96	463
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理における数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数として7年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を5年に変更しております。

この結果、従来 of 費用処理年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24百万円増加しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(譲渡制限付株式報酬制度による自己株式の処分)

当社は譲渡制限付株式報酬制度を導入しており、2022年6月24日開催の当社取締役会において決議した譲渡制限付株式報酬の割当として、2022年7月20日に自己株式18,900株(総額21百万円)の処分を実施しております。

(コロナ感染症の影響に伴う会計上の見積り)

コロナ感染症の影響は、国の経済対策やワクチン接種の期待を背景に緩やかに回復していく傾向にありましたが、変異株等の発生や流行により、収束時期はいまだ不透明であり、その影響は少なくとも当連結会計年度の一定期間にわたり影響が継続するものと考えられます。その仮定をもとに会計上の見積り(主に固定資産の減損会計等)を会計処理に反映し四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、上記における仮定は不確実性が高く、コロナ感染症の感染拡大状況や経済の影響によっては、会計上の見積りにも影響を及ぼし、今後における当社グループの財政状態、経営成績等に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	和装事業	洋装事業	ホームファインシング [※] 事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	
売上高						
外部顧客に対する 売上高	879	3,838	2,885	2,805	666	11,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	-	15	1	56	73
計	879	3,838	2,900	2,807	722	11,149
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△199	△73	46	△49	422	145

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	145
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	△209
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△64

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニシング 事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	856	3,835	2,039	2,573	718	10,023	48	10,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	21	—	2	60	88	0	88
計	860	3,856	2,039	2,576	779	10,111	48	10,160
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△132	△126	295	△200	416	252	△69	183

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「ホームファニシング事業」の店舗に係る固定資産及び在庫を売却したこと等により、前連結会計年度の末日に比べ「ホームファニシング事業」のセグメント資産が540百万円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	252
「その他」の区分の損失(△)	△69
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△174
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	8

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。